

週間感染症情報

2026年1週～2週 2025年12月29日より2026年1月11日まで

1週 2週

麻疹		
風疹		
水痘(みずぼうそう)		1
ムンプス(おたふくかぜ)		
百日咳		
溶連菌感染症	4	5
手足口病		
ヘルパンギーナ		
伝染性紅斑	2	0
感染性胃腸炎	6	23
ノロウイルス(再掲)		
便アデノウイルス(再掲)		
突発性発疹	1	
伝染性膿痂疹(とびひ)		
ヘルペス性口内炎		
アデノウイルス感染症		
RSウイルス感染症		
マイコプラズマ感染症	5	6
ヒトメタニューモウイルス	0	0
インフルエンザ	202	171
インフルエンザ A	166	136
インフルエンザ B	4	7
新型コロナウイルス感染症	21	15

新年おめでとうございます。2026年1～2週の2週間分の報告です。1週は休診の医療機関が多く、ほぼ当番医の報告です。

新年に入り、冬休みということもありインフルエンザAの報告は急減しました。また、他の感染症も減少して、小児科外来は

ゆったりとした診療ができています。インフルエンザBの報告が増えており

2023-2024シーズンの流行パターンに似てきています。このシーズンは

春休みまでB型の流行が続きました。これから、入試など行事の多い

時期になります。受験生でもマスクの着用率は低いようです。症状はなくても、

感染予防のためマスクの着用をお願いします。

コロナの報告は少ないながらも続いています。大きな流行にはなっていません。

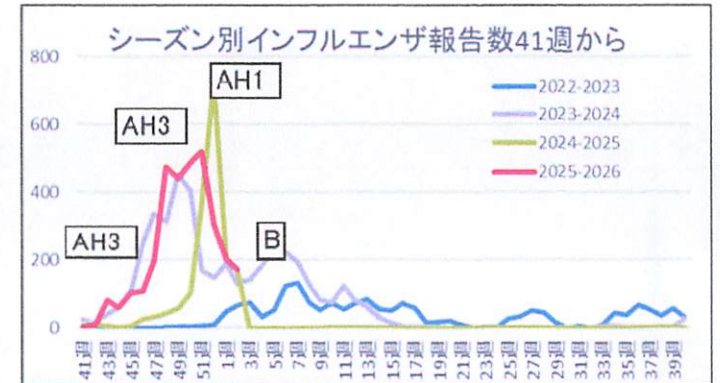
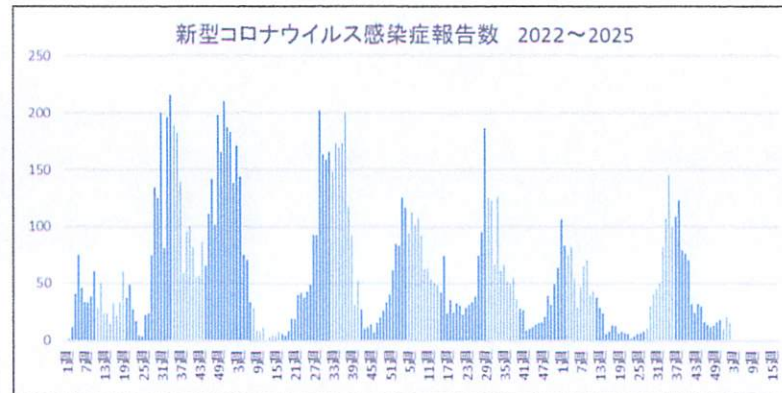
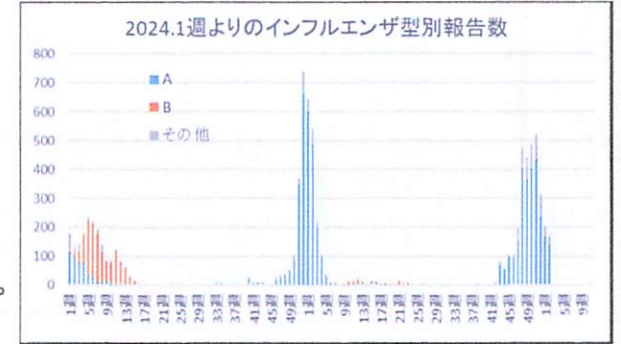
クラスに一人インフルエンザの患者が出ると、数日後には周囲の

5-6人がり患し、1週間するとクラスの半数がり患して、2週間でクラス内の流行は終息します。

嘔吐を主とするノロウイルスによると思われるウイルス性胃腸炎が増えています。岡山県に注意報が発令中です。

マイコプラズマ肺炎の報告が続いています。発熱と咳が長引き、コロナ・インフル抗原検査が陰性の場合は鑑別に入れてください。

熱がなくても咳をしている場合は、マスクの着用をお願いします。手洗い・換気に努めて下さい。



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyakenaika.com>)